

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

=== 必ずお読みください ===

MISRA C ルールチェッカ SQMlint V.1.03 Release 00

リリースノート

第2版

株式会社 ルネサス ソリューションズ

2007年9月16日

このたびは、MISRA¹ C ルールチェッカ SQMlint V.1.03 Release 00(以下、SQMlint と略します)を採用いただきまして、誠にありがとうございます。本資料は SQMlint ユーザーズマニュアルの補足等について説明します。ユーザーズマニュアルの該当項目をご覧になる場合は、併せてこのリリースノートをご覧いただきますようお願い申し上げます。
※ 本ドキュメントの最新版は、<http://japan.renesas.com/tools>から入手可能です。

目次

1. 製品内容.....	2
2. 動作確認環境	2
2.1. 対応するコンパイラのバージョン	2
2.2. 対応OS	2
3. 最新情報およびFAQ のご案内.....	2
4. インストール	3
4.1. インストールを始める前に	3
4.2. インストールされるファイル	3
4.3. インストールの前にバックアップしておくファイル.....	5
4.4. インストール方法	5
4.5. アンインストール方法	5
5. 注意事項.....	6
5.1. コンパイラ付属の標準ヘッダファイル、標準ライブラリソースファイルについて	6
5.2. SHコンパイラのファイル間インライン展開機能について	6
5.3. エラーメッセージについて	6
5.4. "MISRA2004" および "グループ定義ファイル" オプションについて	6
6. V.1.02 からV.1.03 へ変更点	6
6.1. 問題点の修正	6
6.2. ルールの解釈	6
6.3. ユーティリティプログラムの追加	8
7. ユーザ登録	8
7.1. ユーザー登録方法	8
8. ソフトウェアバージョン一覧	9

¹ "MISRA" and the triangle logo are registered trademarks of MIRA Ltd, held on behalf of the MISRA Consortium.

1. 製品内容

本製品は、インストール済みのルネサス製 C コンパイラに MISRA C ルール検査機能を追加します。本製品単体では動作しません。

(1) CD-ROM の内容

- SQMlint V.1.03 Release 00
- SQMlint ユーザーズマニュアル (PDF 形式ファイル)

これらのものが製品に含まれていない場合は、ご購入いただいたルネサス販売および特約店にご連絡ください。

2. 動作確認環境

2.1. 対応するコンパイラのバージョン

対応コンパイラ	
NC30WA V.5.20 Release 1 以降	Windows 対応日本語版、英語版
NC308WA V.5.10 Release 1 以降	Windows 対応日本語版、英語版
NC100 V.1.01 Release 00 以降	Windows 対応日本語版、英語版
CC32R V.4.10 Release 1 以降	Windows 対応日本語版、英語版
SH コンパイラ V.9.00 Release 1 以降	Windows 対応日本語版、英語版
H8 コンパイラ V.6.01 Release 00 以降	Windows 対応日本語版、英語版

上記以外のコンパイラには対応していません。

2.2. 対応OS

SQMlint の動作を実際に確認しているホストマシンおよび OS のバージョンについて以下に示します。

ホストマシン	OS のバージョン
IBM PC/AT 互換機	Microsoft Windows 98
	Microsoft Windows Me
	Microsoft Windows NT 4.0
	Microsoft Windows 2000
	Microsoft Windows XP

3. 最新情報およびFAQ のご案内

本製品の最新情報は、以下を参照してください。

<http://japan.renesas.com/tools>

4. インストール

4.1. インストールを始める前に

インストールを始める前に次の内容をご確認ください。

- 本製品の「使用権許諾契約書」、「リリースノート」をよくお読みください。製品をインストールした場合は、契約書の記載内容に同意されたものとみなします。
- **SQMLint をインストールする前に必ずコンパイラを先にインストールしてください。**
※SQMLint をインストールしてもコンパイラはインストールされません。
- インストールの途中でライセンス ID を入力する必要があります。インストールを始める前にライセンス ID を確認してください。
- 対応コンパイラ以外のバージョンに、インストールすることはできません。
- Windows NT, 2000, XP にインストールする場合は、administrator 権限でインストール作業を行ってください。

4.2. インストールされるファイル

4.2.1. NC308WA にインストールする場合

ここでは NC308WA を ¥Program files¥Renesas¥Hew¥Tools¥Renesas¥nc308wa¥バージョン¥ の下にインストールしていると仮定して説明します。

(1) 新規追加

- LI B308¥SQMLINT. EXE (MISRA C ルールチェッカ)
- LI B308¥SQMTYSZ. DLL (SQMLint 用 DLL ファイル)
- LI B308¥SQMLINT. DEF (SQMLint 用定義ファイル)
- MANUAL¥SQMLNTUJ. PDF (ユーザーズマニュアル)
- BIN¥SQMMERGER. EXE (マージユーティリティ)
- BIN¥SQMFORM. EXE (フォーマット変換ユーティリティ)

(2) 既存ファイルの書き換え

NC308WA V.5.10 Release 1 をご使用されている場合のみ、以下のファイルが書き換えられます。

- ¥MTOOLS¥BIN¥NC308. EXE
- ¥MTOOLS¥LIB308¥NC308. OPT

4.2.2. NC30WA にインストールする場合

ここでは NC30WA を ¥Program files¥Renesas¥Hew¥Tools¥Renesas¥nc30wa¥バージョン¥ の下にインストールしていると仮定して説明します。

(1) 新規追加

- LI B30¥SQMLINT. EXE (MISRA C ルールチェッカ)
- LI B30¥SQMTYSZ. DLL (SQMLint 用 DLL ファイル)
- LI B30¥SQMLINT. DEF (SQMLint 用定義ファイル)
- MANUAL¥SQMLNTUJ. PDF (ユーザーズマニュアル)
- BIN¥SQMMERGER. EXE (マージユーティリティ)
- BIN¥SQMFORM. EXE (フォーマット変換ユーティリティ)

4.2.3. NC100 にインストールする場合

ここでは NC100 を ¥Program files¥Renesas¥Hew¥Tools¥Renesas¥nc100¥バージョン¥ の下にインストールしていると仮定して説明します。

(1) 新規追加

- LI B100¥SQMLINT. EXE (MISRA C ルールチェッカ)
- LI B100¥SQMTYSZ. DLL (SQMLint 用 DLL ファイル)
- LI B100¥SQMLINT. DEF (SQMLint 用定義ファイル)
- MANUAL¥SQMLNTUJ. PDF (ユーザーズマニュアル)
- BIN¥SQMMERGER. EXE (マージユーティリティ)
- BIN¥SQMFORM. EXE (フォーマット変換ユーティリティ)

4.2.4. CC32R にインストールする場合

ここでは CC32R を ¥Program files¥Renesas¥Hew¥Tools¥Renesas¥cc32r¥バージョン¥ の下にインストールしていると仮定して説明します。

(1) 新規追加

- LI B32R¥SQMLINT. EXE (MISRA-C ルールチェッカ)
- LI B32R¥SQMTYSZ. DLL (SQMLint 用 DLL ファイル)
- LI B32R¥SQMLINT. DEF (SQMLint 用定義ファイル)
- MANUAL¥SQMLNTUJ. PDF (ユーザーズマニュアル)
- BIN32R¥SQMMERGER. EXE (マージユーティリティ)
- BIN32R¥SQMFORM. EXE (フォーマット変換ユーティリティ)

(2) 既存ファイルの書き換え

CC32R V.4.10 Release 1 をご使用されている場合のみ、以下のファイルが書き換えられます。

- ¥MTOOLS¥BIN32R¥CC32R. EXE
- ¥MTOOLS¥LIB32R¥CC32R. OPT

4.2.5. SH コンパイラにインストールする場合

ここでは SH コンパイラを ¥Program files¥Renesas¥Hew¥Tools¥Renesas¥Sh¥バージョン¥ の下にインストールしていると仮定して説明します。

(1) 新規追加

- bin¥SQMLINT. EXE (MISRA C ルールチェッカ)
- bin¥SQMTYSZ. DLL (SQMLint 用 DLL ファイル)
- bin¥SQMLINT. DEF (SQMLint 用定義ファイル)
- bin¥SQMMERGER. EXE (マージユーティリティ)
- bin¥SQMForm. EXE (フォーマット変換ユーティリティ)
- ¥Program files¥Renesas¥Hew¥Manual s¥Renesas¥PDFs¥SQMLNTUJ. PDF (ユーザーズマニュアル)

4.2.6. H8 コンパイラにインストールする場合

ここでは H8 コンパイラを ¥Program files¥Renesas¥Hew¥Tools¥Renesas¥H8¥バージョン¥ の下にインストールしていると仮定して説明します。

(1) 新規追加

- bin¥SQMLINT. EXE (MISRA C ルールチェッカ)
- bin¥SQMTYSZ. DLL (SQMLint 用 DLL ファイル)
- bin¥SQMLINT. DEF (SQMLint 用定義ファイル)
- bin¥SQMMERGER. EXE (マージユーティリティ)
- bin¥SQMMERGER. EXE (フォーマット変換ユーティリティ)
- ¥Program files¥Renesas¥Hew¥Manual s¥Renesas¥PDFs¥SQMLNTUJ. PDF (ユーザーズマニュアル)

4.3. インストールの前にバックアップしておくファイル

4.3.1. NC308WA V.5.10 Release 1 をご使用の場合

インストーラは、NC308WA のコンパイルドライバ(NC308. EXE)および TM 用オプションファイル(NC308. OPT)を書き換えるため、SQMlint だけをアンインストールすると NC308WA が起動できなくなります。

インストールの前に以下のファイルをバックアップしてください。

ここでは NC308WA を ¥MTOOL の下にインストールしていると仮定して説明します。

- バックアップしておくファイル
 - ¥MTOOL¥BIN¥NC308. EXE
 - ¥MTOOL¥LIB308¥NC308. OPT

4.3.2. CC32R V.4.10 Release 1 をご使用の場合

インストーラは、CC32R のコンパイルドライバ(CC32R. EXE)および TM 用オプションファイル(CC32R. OPT)を書き換えるため、SQMlint をアンインストールすると CC32R が起動できなくなります。

インストールの前に以下のファイルをバックアップしてください。

ここでは CC32R を ¥MTOOL の下にインストールしていると仮定して説明します。

- バックアップしておくファイル
 - ¥MTOOL¥BIN32R¥CC32R. EXE
 - ¥MTOOL¥LIB32R¥CC32R. OPT

※その他のコンパイラをご使用の場合は、ファイルをバックアップする必要はありません。

4.4. インストール方法

- (1) NC308WA V.5.10 Release1、および CC32R V.4.10 Release 1 をご使用されている場合のみ、4.3 項の説明をお読みいただき、ファイルのバックアップを作成してください。
- (2) CD-ROM のルートディレクトリ¥SQMLINT¥W95J¥SETUP. EXE を起動してください。
- (3) インストーラの起動後に表示されるメッセージにしたがってインストールを完了してください。

4.5. アンインストール方法

- (1) コントロールパネルの、プログラムの追加と削除から
 - 「SQMlint for NC308WA V.x.xx Release xx」 または、
 - 「SQMlint for NC30WA V.x.xx Release xx」 または、
 - 「SQMlint for NC100 V.x.xx Release xx」 または、
 - 「SQMlint for CC32R V.x.xx Release xx」 または、
 - 「SQMlint for SH-C V.x.xx Release xx」 または、
 - 「SQMlint for H8-C V.x.xx Release xx」
 を削除してください。
- (2) インストール時に作成したバックアップファイルを元のディレクトリに復元してください。

※注意事項

SQMlint よりも先に SQMlint をインストールした NC308WA、NC30WA、NC100、CC32R、SH コンパイラ、H8 コンパイラをアンインストールすると、SQMlint がアンインストールできなくなる可能性があります。必ず、SQMlint を NC308WA、NC30WA、NC100、CC32R、SH コンパイラ、H8 コンパイラよりも先にアンインストールしてください。

5. 注意事項

5.1. コンパイラ付属の標準ヘッダファイル、標準ライブラリソースファイルについて

標準ヘッダファイルおよび標準ライブラリソースファイルの C ソースコードが、MISRA-C ルールに対応しているかについては、コンパイラのマニュアルやリリースノートに記載していますので、そちらを参照してください。

5.2. SHコンパイラのファイル間インライン展開機能について

ファイル間インライン展開機能 (file_inline オプション) で指定されたファイルは、MISRA C ルール検査の対象外です。ご注意ください。

5.3. エラーメッセージについて

エラーメッセージとして "System Error in sqmlint" が出力された場合は、メッセージの内容をコンタクトセンタ (csc@renesas.com) までご連絡ください。

5.4. "MISRA2004" および "グループ定義ファイル" オプションについて

SQMLint V.1.03 Release 00と2007年9月以降にリリースされるコンパイラ製品を組み合わせで使用する場合、Renesas xxx Standard ToolchainダイアログボックスのコンパイラタブにSQMLintのオプションとして"MISRA2004" および"グループ定義ファイル"が表示される場合がありますが、これらのオプションを選択するとビルド時にエラーが発生します。

SQMLint V.1.03 Release 00の場合は、"MISRA1998" オプションを選択してください。

"MISRA2004" および "グループ定義ファイル" オプションは、SQMLint V.2.00 から使用可能となる予定です。

6. V.1.02 からV.1.03 へ変更点

6.1. 問題点の修正

以下の問題点を修正しました。

ツールニュース番号	概要
RSO-SQMLint-050616D	ルール 29 違反のメッセージが出力される場合の注意事項
RSO-R0C00000SCW01R-060401D	ルール 43 違反メッセージについての注意事項
RSO-R0C00000SCW01R-060401D	グローバル変数の初期化時に出力されるルール 1 違反メッセージについての注意事項

6.2. ルールの解釈

6.2.1. ルール 44 の解釈について

ルール 44 では「冗長なキャストとは何か」を次のように定義していました。

1. 同じ型にキャストしている場合
2. 暗黙変換後の型と同じ型にキャストしている場合

しかし MISRA C 研究会の解説本では、1 のみが対象であると明言しています。また 2 が原因で、ルール 44 違反のメッセージが多数出力されており、かつ回避の方法がありません。このため 2 の条件を抹消しました。

例) data1 = (UCHAR)(sdata & 0x00FU); /* V.1.03 からルール 44 違反ではない */

6.2.2. ルール 77 の解釈について

次の記述は、MISRA C 研究会の解説本では「準拠」になっていますが、`sqlmlint` では「違反」になります。これを違反にならないように変更しました。

```
void func(const char*);
void xxx()
{
    char* p;
    func(p);    // ここでルール 77 違反
}
```

6.2.3. ルール 113 の解釈について

`sqlmlint V.1.02 R00` では、構造体オブジェクトのアドレスを取るとルール 113 違反になります。これは、ポインタ演算でメンバを触ることができるようになるため、その根源である「アドレスを取る行為そのものを違反にする」という考え方が根拠です。

しかしこれでは、構造体へのポインタを引数に持つ関数に対して、構造体のアドレスを渡せません。もちろんポインタ算術でアドレスとオフセット計算だけでメンバをアクセスすること違反ですが、構造体を指すポインタと->演算子によるアクセスは問題ありません。

このため構造体オブジェクトのアドレスを取る操作は、ルール 113 違反にならないように変更しました。

6.2.4. ルール 43 の解釈について

次のような複合代入を記述しても、ルール 43 の違反对象になりませんでした。MISRA C 研究会の解説本ではこの書き方が「ルール違反」にされていますので、ルール違反となるように変更しました。

```
/* int は 32 ビット */
void func(void)
{
    unsigned int ui16;

    ui16 = ui16 & 0x0002u;    /* ルール 43 違反になる */
    ui16 &= 0xFFFFFFFFFu;    /* ルール 43 違反にならないのを、次バージョンから違反にする */
}
```

6.2.5. ルール 104 の解釈について

ルール 104 は、「関数へのポインタはコンパイル時に定数アドレスを持たなければならない」というものです。

`sqlmlint` は全ての宣言に対してこの検査をしています。このためヘッダファイル中に記述された「`extern FP ptr;`」のような記述に対してもメッセージが出力されます。

明示的に `extern` 宣言した変数宣言についてのみ、ルール 104 の検査対象外とします。

```
extern void(*FP1)(void);    /* メッセージは出ない */
void(*FP2)(void);          /* メッセージが出る */
```

6.2.6. ルール 31 の解釈について

多次元配列 (配列の配列) の初期化時に、ゼロ初期化の場合に限り次の記述が許されます。しかしこの記述に対しても、ルール 31 違反が出ていました。このルール 31 に対する特例に対応しました。

```
int array[2][3] = {0};    /* ルール 31 違反ではない */
```

6.2.7. ルール 77 の解釈について

下記 C ソースのように引数にヌルポインタ定数を与えると、ルール 77 のメッセージが出ます。ヌルポインタ定数については実質的に問題ないので、ルール 77 の検査対象外にしました。

```
void func(int*);

void xxx()
{
    func(0);    // ここ
}
```

6.2.8. ルール 45 の解釈について

つぎのようなマクロ NULL 使用すると、ルール 45 違反になっていました。しかしこれは一般的な使い方なので、ルール 45 の検査対象外にしました。

```
#define NULL (void*)0
```

6.2.9. NC30/NC308 のメッセージフォーマットについて

HEW のエラーヘルプ機能に対応するため、エラー番号を付加した形式に変更しました。

6.3. ユーティリティプログラムの追加

sqmlint.exe が出力する CSV ファイルを、テキストエディタでタグジャンプするためのフォーマットに変換するツールを添付しました。詳細はユーザーズマニュアルの付録、フォーマット変換ユーティリティ sqmform を読んでください。

7. ユーザ登録

バージョンアップ情報や技術サポートなどのサービスを受けるためにユーザー登録を行ってください。ユーザー登録をされていない場合は、これらのサービスを受けることができません。

また、ユーザー登録はご購入後 30 日以内にお願いします。

7.1. ユーザー登録方法

ここでは ¥Program files¥Renesas¥Hew¥Tools¥Renesas¥ の下にインストールしていると仮定します。インストールすると以下のファイルが生成されます。

- (1)NC308WA をご使用の場合
nc308wa¥バージョン¥SUPPORT¥SQMNC308WA¥regist.txt
- (2)NC30WA をご使用の場合
nc30wa¥バージョン¥SUPPORT¥SQMNC30WA¥regist.txt
- (3)NC100 をご使用の場合
nc100¥バージョン¥SUPPORT¥SQMNC100¥regist.txt
- (4)CC32R をご使用の場合
CC32R¥バージョン¥SUPPORT¥SQMCC32R¥regist.txt
- (5)SH コンパイラをご使用の場合
SQMI nt¥1_3_0¥SH¥SUPPORT¥SQMSH¥regist.txt
- (6)H8 コンパイラをご使用の場合
SQMI nt¥1_3_0¥H8¥SUPPORT¥SQMH8¥regist.txt

regist.txt の内容をご確認の上、電子メールアドレス宛に送付してください。

regist_tool@renesas.com

8. ソフトウェアバージョン一覧

製品に含まれているプログラムのバージョンは以下の通りです。

1	sqmlint.exe	V.1.03.00.000	MISRA C ルールチェッカ
2	sqmtysz.dll	V.1.00.00.000	SH コンパイラ用
	sqmtysz.dll	V.1.00.00.000	H8 コンパイラ用
	sqmtysz.dll	V.1.00.00.000	M32R コンパイラ用
	sqmtysz.dll	V.1.00.00.000	M32C コンパイラ用
	sqmtysz.dll	V.1.00.00.000	M16C コンパイラ用
	sqmtysz.dll	V.1.00.00.000	R32C コンパイラ用
3	sqmlint.def	V.1.00.00.000	SH コンパイラ用
	sqmlint.def	V.1.00.00.000	H8 コンパイラ用
	sqmlint.def	V.1.00.00.000	M32R コンパイラ用
	sqmlint.def	V.1.00.00.000	M32C コンパイラ用
	sqmlint.def	V.1.00.00.000	M16C コンパイラ用
	sqmlint.def	V.1.00.00.000	R32C コンパイラ用
4	sqmmerger.exe	V.1.00.00.000	マージユーティリティ
5	sqmform.exe	V.1.00.00.000	ファイルフォーマット変換ユーティリティ